

その人らしい暮らしを支える／医療と介護で地域に根差す／医療法人社団 慶勝会の広報誌

赤門だより

vol. 62

特集

感染症対策 ～今、私たちができること～

感染症対策（今、私たちができること）

介護老人保健施設なのはな館みさき

看護次長 小間 久美子

国内での新型コロナウイルス感染症報告から1年以上が経ちました。ただ感染動向から目が離せない状況が続いておりますが、なのはな館みさき及びなごさでは「今、何ができるのか」を確認しながら気を付けている感染対策をご紹介します。

当館では、「持ち込まない、広げない、持ち出さない」を基本の考え方として、新型コロナウイルス感染防止マニュアルを作成しています。

また厚生労働省老健局からの事務連絡文書を確認のもとにマニュアルの見直しを常に行い、近隣での感染状況も考えながら感染リスクを考慮した対策の強化と同時に職員に感染対策について教育活動も実施しています。



「持ち込まない！」
～職員の健康管理について～

なのはな館みさきは入所119名、通所35名、なごさは入所29名のご利用者が生活をされています。私たちはご利用者の生活の中で健康管理や食事、入浴、排せつ、リハビリテーションと密接に関わっています。ご利用者の近くで生活を支え、命を守るケアを担っている私たちが、万が「大切なご利用者に感染させてしまったら・・・」高齢者は重症化の経過を辿ること、館内での蔓延につながるリスクを職員はいつも肝に銘じて生活しています。そのため日常生活から健康管理に最大限の注意を払い、毎日検温をした後に出勤をしています。

また新型コロナウイルスは、風邪症状との区別も困難なため、職員本人または同居家族に風邪症状が

ケアの場面での感染対策

1. 飛沫感染予防の対策
 - ・共有スペースで過ごす時には、マスクの着用を促す。マスク着用が困難な場合には、お互いに対面で手を伸ばしてぶつからない距離をとる。
 - ・至近距離での会話は控える。
 - ・レクリエーションにて歌やカラオケは控える（代わりに塗り絵やDVDによるリハビリテーションを実施）。
 - ・食事介助、口腔ケア、喀痰吸引等、または看護処置にて飛沫飛散による感染のリスクがある場面については、フェイスシールド・グローブ・ビニールエプロン着用を厳守（マスク着用併用）。
 - ・対面での食事は行わない。パーテーションを設置、食事終了後はテーブルの消毒を徹底。
2. 接触感染予防の対策
 - ・飲食前の手指消毒の徹底。トイレ・洗面台・手すり等の共有スペースは使用毎に消毒を実施。
 - ・排泄ケアの際には、フェイスシールド・グローブ・ビニールエプロン着用を厳守（マスク着用併用）。
 - ・カンファレンスやミーティングは短時間、少人数で開催。
3. その他の感染対策
 - ・室温、湿度調節管理。
 - ・1時間毎の換気の徹底。換気の時間を事務にて館内放送でお知らせする。
 - ・無人エレベーターの活用
 - ・3密にならない生活環境の工夫。（浴室の狭い空間における、1回に案内する人数の工夫や、食事の場所を分散し3密を回避）
 - ・フロア間の行き来が必要になった場合には、フェイスシールド・グローブ・ビニールエプロン着用を厳守（マスク着用併用）。
 - ・カンファレンスやミーティングは短時間、少人数で開催。

ルド・グローブ・ビニールエプロン

着用を厳守（マスク着用併用）。

・集団体操などのリハビリテーションの際には、手を伸ばしても届かない距離を空けて座る。

・手をつなぐ等の動作は控える。

・事業所の設備備品・車両の消毒（特に手すりドアノブなど常時消毒）。

・室温、湿度調節管理。

・1時間毎の換気の徹底。換気の時間を事務にて館内放送でお知らせする。

・無人エレベーターの活用

・3密にならない生活環境の工夫。（浴室の狭い空間における、1回に案内する人数の工夫や、食事の場所を分散し3密を回避）

・フロア間の行き来が必要になった場合には、フェイスシールド・グローブ・ビニールエプロン着用を厳守（マスク着用併用）。

・カンファレンスやミーティングは短時間、少人数で開催。

られた際には、受診した診断結果を踏まえ、1週間の経過観察期間を設け体調を確認した後に出勤としています。

また、厚生労働省が提示している濃厚接触の定義、新しい生活様式を確認し、勤務中および日常生活の中で感染対策には十分注意を払い行動をしています。

「広げない！持ち出さない！」

～館内における感染対策～

職員は新型コロナ感染対策のため、勤務に入る前にユニフォームに着替え、勤務後は帰宅前に更衣をしてから退勤しており、施設内に衣類に付着したウイルスや細菌を持ち込まない、また持ち出さないことを徹底しています。ユニフォームはご利用者に対し敬意、おもてなしの心を示す襟付きのシャツで家庭的な雰囲気の中で一緒になって過ごせるように色は明るく清潔感のある素材のものを選んだところ、ご利用者より「明るい色で素敵だね」等の言葉が聞かれています。

施設内の環境については、通所フロアと入所フロア



アの接触がないように感染対策を徹底しています。入所フロアに関しては、万が一館内で発症報告があった場合に、感染の広がりを最小限に留めるため、フロア間の行き来を控えています。

また、飛沫感染、接触感染の感染経路の遮断を根底に考え、日頃のケアの中での感染対策について職員に周知徹底をしています。

ケアの場面での感染対策については、ページ右下にまとめてあります。

「私たちがご利用者、ご家族にできることを模索」

職員の企画により写真付きのメッセージカードをご家族に送付することや例年ではお花見の家族会を開催する時期なので、少しでも季節感を感じていただけるようフロア内で感染対策に留意した行事を計画しています。私たちにできることは、感染対策に留意しながら出来るケアを検討し、ご利用者が生きがいを感じ「その人らしく」過ごしていただく環境を模索していくことだと感じています。面会についてはスカイプや窓越し面会となっているため、ご利用者とご家族が手を触れ合い、お互いの表情がわかる距離で会話ができる日が一日でも早く来ることを心から願っています。

「ご利用者の笑顔に支えられて」

サテライト型小規模介護老人保健施設

なのはな館なぎさ

介護次長 地引 大悟



コロナウイルス感染症の感染対策を実施している中で、「もしかしたら自分がウイルスを保有しているのではないか」という意識を絶やさず、手洗いや共有物の消毒、ウイルスの飛散防止対策を常に実行しています。ご利用者にとっては、ご家族との面会、外出等生活が制限されることも多く、できるだけ寂しさや閉塞感を感じない生活を送っていただけるよう心掛けています。

ご利用者の伝えたい思いを感じ取るには、表情を観ながらのコミュニケーションが大切なため、つい距離が近くなってしまうですが、その時に掛けていただく言葉や笑顔に私たち職員も支えられております。

「こんな時だからこそ笑顔を忘れずに」

赤門整形外科内科

事務部 岡田 美里

赤門整形外科内科では患者様が安心して受診出来るよう感染防止対策を行っています。

受付ではアクリルボードを設置しての対応、来院者全員に体温測定、患者様が使用する備品の消毒を徹底しています。

職員の健康管理についても体調不良・発熱・呼吸器症状がある場合は出勤せず、速やかに連絡・報告・指示確認を行っています。当院の感染委員会を中心に情報共有し、感染防止に努めています。

患者様にはマスク着用での対応となるため、声が聞こえづらく職員の表情が伝わりにくいということもあると思いますので、はつきりと話すことと笑顔を忘れないようにすることを心掛けています。



赤門整形外科内科 ご利用案内 (2021年4月時点)

● 診療時間	月～金 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～18:00 土曜日 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～17:00
● リハビリテーション	月～金 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00
● 外来受付時間	月～金 8:30～18:00 土曜日 8:30～17:00
● 休診日	日・祝・祭日、年末年始 (12月30日～1月3日)



最新の外来予定はこちらのQRコードからご確認いただけます。



救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・被爆者一般疾病医療機関・公害・難病指定医・身体障害者福祉法指定医・難病指定医療機関

医療法人社団 慶勝会 事業所一覧

赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼 1619
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田 110-1
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条 2832
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-3113 FAX. 0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼 1637-1
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

館山市地域包括支援センターいちご

〒294-0043 千葉県館山市安布里 237-3
TEL. 0470-28-4115 FAX. 0470-28-4116

館山市認知症初期集中支援チームおれんじ

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-29-5301 FAX. 0470-29-5302

管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼 1599 番地 1、1 階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

赤門保育所

はじめに



私たち医療法人社団 慶勝会は、明治21年（1888年）産婦人科「赤門鈴木医院」の開設を礎として、時代ごとに地域のニーズにお応えすることを使命とし、これまで取り組んでまいりました。これからもこの使命を全うし続けてゆくためにも、絶えず邁進してまいります。

赤門の由来

江戸時代に南部藩（現在の盛岡）の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は、交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、塀の上には高張り（庇）を許されました。この朱塗りの門すなわち“赤門”が名称の由来として今日まで継承されています。



この一枚



なのはな館みさきの庭に咲く桜。小さな枝にも沢山の花をつけ、制約の多い日々を過ごす私たちの目を楽しませてくれました。

医療法人社団 慶勝会広報誌「赤門だより」通巻62号
発行・責任：「赤門だより」編集発行室
千葉県館山市沼1599番地1、1階
TEL.0470-25-7300 FAX.0470-25-7301
ホームページ：https://www.keishokai.or.jp
発行日：2021年4月15日（年3回）
編集・印刷・写真：管理部 総合企画